

## News Release

**Symbiobe、第三者割当増資により総額約 7,000 万円の資金調達を実施、  
NEDO STS（最大 7,000 万円の助成金）採択も同時決定**

持続可能な社会と産業を新たな“あたりまえ”にしていくことを目指し、光合成生物を用いた温室効果ガス削減、持続可能な農業用窒素肥料・水産養殖用飼料供給、環境分解性の産業用バイオポリマー生産に向けた研究開発を進める京都大学発ベンチャー企業の Symbiobe 株式会社は、この度、Beyond Next Ventures 株式会社が運営する Beyond Next Ventures2 号投資事業有限責任組合、および京都大学イノベーションキャピタル株式会社が運営するイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合を引受先とする第三者割当増資により、総額約 7,000 万円の資金調達を完了したことをお知らせいたします。

また、2021 年 6 月 8 日付で、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の 2021 年度「研究開発型スタートアップ支援事業／シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援（STS）」（最大 7,000 万円の助成金）に係る第 1 回公募において、採択されましたことをあわせてお知らせいたします。

Symbiobe は、京都大学大学院工学研究科材料化学専攻の沼田 圭司教授の研究成果である海洋性光合成細菌を用いた二酸化炭素・窒素固定及びバイオマテリアル等生産基盤技術を基に、2021 年 1 月に設立した京都大学発の環境バイオベンチャーのスタートアップ企業です。光合成（二酸化炭素固定）と窒素固定の両方の能力を併せ持つ海洋性紅色光合成細菌の培養技術をフル活用することにより、これまで十分に活用されてこなかったバイオマス資源である二酸化炭素・窒素・海水の有効利用を起点とした次世代の資源循環型物質生産プラットフォームの構築を進めております。これにより、石油等の化石燃料資源枯渇、地球温暖化、人類の食糧危機、海洋プラスチック問題等の環境汚染・生物多様性破壊等の地球規模の課題解決に貢献し、持続可能な社会と産業が“あたりまえ”の世の中を実現することを目指しております。

今回の資金調達及び NEDO STS での資金を用いて、海洋性紅色光合成細菌の大規模培養に向けた更なる生産性向上・スケールアップ技術開発を進め、また研究開発をより加速させるための人材採用についても強化してまいります。



## **Symbiobe 株式会社について**

事業内容 光合成生物を用いた温室効果ガス固定及び産業用バイオマテリアル・農業用窒素肥料・水産養殖用飼料生産に関する研究開発及び製造・販売

設立 2021年1月

所在地 京都府京都市西京区御陵大原1番地39 京大桂ベンチャープラザ南館

代表者 代表取締役 後 圭介 (うしろ けいすけ)

URL <https://www.symbiobe.jp/>

### **【お問い合わせ】**

Symbiobe 株式会社

京都府京都市西京区御陵大原1番地39 京大桂ベンチャープラザ南館

Email: [contact@symbiobe.jp](mailto:contact@symbiobe.jp)